

津市埋蔵文化財センター情報

まいぶん津

2014.3.31
第12号



津城跡第2次調査石垣断面（北から）

最近の調査から

津城跡第2次調査（丸之内）

津城跡は、安濃川下流の標高約2mの沖積地に位置し、天正8年(1580)頃織田信包により築城されたといわれています。その後入府した藤堂高虎によって、慶長16年(1611)から大改修が行われました。

今回の調査区は津城内堀の北東角で、平成20年度の調査で確認された石垣・内堀のうち現状保存ができない部分を調査しました。石垣の背後を調査した結果、大部分で石を積み上げるための堀方が二重になっており、石垣が改修されていることがわかりました。調査区南部の石垣は寛永通宝(初鑄1636年)が出土していることから、その大半が改修によるものと考えられ、石材が比較的小振りです。必ずしも平坦な面を揃えて積んでいないなど、応急的に築かれた石垣の可能性もあります。これに対して、調査区北端部の石垣は、石材が比較的大振りで平坦な面を揃えて積むなど当初の石垣と考えられています。(村木一弥)

神戸遺跡鳥井前地区第2次調査(南河路)

神戸遺跡鳥井前地区は、東流して伊勢湾に注ぐ安濃川と岩田川に挟まれた標高約5mの沖積地に位置する遺跡です。平成10年度には圃場整備に伴い三重県埋蔵文化財センターによって発掘調査が行われ、古墳時代の溝などが検出されています。

今回の調査は市道の拡幅工事に伴うもので、前回の調査区の西側にあたります。調査の結果、調査区の南半部では遺構は検出されなかったものの、北半部では溝などが検出されています。

湧水が多いことなどから考えると、調査区は遺跡の縁辺部にあたると考えられます。遺物は古墳時代の土師器や須恵器が中心で、少量ながら山茶碗などの中世の土器も出土しています。(村木一弥)



位置図(国土地理院『津東部』1:25,000)



調査区より本丸を望む(北東から)



位置図(1:50,000、国土地理院『津西部』1:25,000)



古墳時代の溝(北西から)

蔵田遺跡第5次調査(北河路町)

蔵田遺跡は、安濃川中流域右岸の標高8m前後の沖積地に位置します。平成3、6～8、12年度には中勢バイパスやメッセウィングみえ建設に伴い発掘調査が行われ、弥生・古墳時代の集落跡、流路、飛鳥・奈良時代の掘立柱建物跡、流路等が見つかりました。

今回の調査は、津市産業・スポーツセンター整備事業に伴うもので、過去の調査区の西側に隣接します。調査の結果、調査区南部の高い場所では、過去の調査で見つかった飛鳥・奈良時代の掘立柱建物の続きや、流路が見つかり、土師器や須恵器等が出土しました。北部の低い場所では、上層に中世の流路があり、山茶碗や青磁碗などが出土しました。その下層からは古墳時代の流路と、しがらみや杭列等流路を流れる水を利用するための施設が見つかり、小型丸底壺等が出土し、水辺に暮らした人々に関わる貴重な資料を得ることができました。

(石淵誠人)

多気北畠氏遺跡第36次調査

(北畠氏館跡第14次調査)(美杉町上多気)

津市では北畠氏館跡の構造を解明する手がかりを得るため、平成24年度に公有地となった館跡の中段部分で発掘調査を実施しました。今回は平成25年10月から12月までの日程で、合計158㎡を調査しました。

その結果、多数の石材が2～3mの幅で散乱している状態で発見され、一部については直線状に並んでいることから石列とも考えられます。これらの石材が検出された遺構の方位は、過去の調査で発見された館跡の上段と中段とを区画する石垣の方位とも類似しており、館の造営にあたり一定の規格があったことがうかがわれます。

また、この石材群を含め、調査区の東側は盛土により整地されていることが判明しました。これまでの調査成果とあわせ、北畠氏の館跡の構造が少しずつ明らかになってきたといえるでしょう。

(熊崎 司)



位置図(国土地理院『津西部』1:25,000)



古墳時代の流路から見つかった「しがらみ」



位置図(国土地理院『伊勢奥津』1:25,000)



調査区全景(南から)

埋文センター日誌抄

- | | |
|--|--|
| 4月19日《見学》神戸小学校 49名 | 町のくらし～その成り立ちにせまる～) |
| 4月20日《普及》津城跡第2次調査現地説明会 | |
| 4月21日《普及》津城跡第2次調査現地公開 | 9月13日《掲載》高松弥生墳墓写真(中経出版新人物文庫『近鉄沿線謎解き散歩』) |
| 4月22日《見学》長寿会15期生 10名(久居分室) | |
| 5月1日《見学》一身田小学校 106名 | 9月26日《見学》橿形市民館 16名 |
| 5月2日《貸出》稲葉3号墳他出土埴輪5件
(三重県埋蔵文化財センター) | 10月7日《調査》多気北畠氏遺跡第36次調査開始 |
| 5月7日《掲載》大城遺跡出土刻書土器写真
(浜島書店『新詳日本史』) | 10月7日《見学》鈴鹿ハイキング会 28名
(久居分室) |
| 5月17日《普及》出張講座 橿形小学校 22名 | 10月30日《調査》神戸遺跡鳥井前地区第2次調査開始 |
| 7月3日《見学》高田中・高等学校社会科教員 13名 | 11月5日《普及》出張講座 誠之小学校 64名 |
| 7月16日《掲載》大城遺跡出土刻書土器写真
(岩崎書店『日本の歴史の道具事典』) | 11月29日《見学》久居歴史探索 8名
(久居分室) |
| 7月20日《掲載》坂本山中世墓写真(大阪府立近つ飛鳥博物館「さまざまなお墓ー墳墓のうつりかわりー」展) | 12月2日《貸出》上津部田城跡公園及び出土遺物写真(三重県総合博物館) |
| 8月12日《貸出》殿村1号墳他出土埴輪 15件
(三重県埋蔵文化財センター) | 12月7日《普及》多気北畠氏遺跡第36次調査現地説明会 |
| 8月24日《見学》三重県教職員組合中勢高支部 7名 | 12月10日《貸出》大城遺跡出土刻書土器(名古屋博物館特別展「文字のチカラー古代東海の文字世界」) |
| 8月24日《掲載》津城跡現地説明会資料(株ジャパン通信情報センター『文化財発掘出土情報』2013年12月号) | 1月15日《貸出》多気北畠氏遺跡出土 金銅装引手金具1点 写真2点
(茨城県立歴史館平成25年度特別展Ⅱ「常陸南北朝史ーそして、動乱の中世へー」) |
| 8月26日《調査》蔵田遺跡第5次調査開始 | 1月27日《調査》津城跡第3次調査開始 |
| 9月6日《貸出》多気北畠氏遺跡出土遺物 54点
(松阪市文化財センター平成25年度はにわ館特別展「城・城下 | 2月15日《普及》津城跡第3次調査現地説明会 |

編集後記

今年度も季節の変化が激しく、夏から秋にかけて大雨や冬の大雪など、発掘調査に従事していた作業員の方には大変な苦勞をかけました。

今回は、発掘調査の特集号としました。もうすぐ平成26年度のスタート。新年度はどんな遺跡にめぐり合うのでしょうか。

(編集子)

発行日：平成26年3月31日

編集発行：津市埋蔵文化財センター
〒514-0058

三重県津市安東町1225

TEL 059-229-0210

FAX 059-229-4601

印刷：共立印刷株式会社